



# 2024年9月期第2四半期決算説明資料

株式会社アミファ

『We are smile producers!』 全ては笑顔のために

amifa

スタンダード市場(証券コード7800)

amifa

amifa

amifa.

---

# 2024年9月期（24/9期） 第2四半期決算概要

2024年5月15日

I

amifa

### 【外部環境】

- + 春闘における大手企業を中心とした高い水準の賃上げ
- + 株式市況の活況
- 日銀のマイナス金利政策の解除
- **急激かつ大幅な円安の進行**
- 諸物価の上昇

先行き不透明な状況で推移

### 【内部環境】

- + 新企画、新商品提案に注力
- + 採算重視の販売戦略
- 物流量増加による出荷・倉庫関係費増加
- 労務費関係費用の増加

売上高は前年同期比増ながら、  
円安の影響、物流関係費や労務  
費の増加を吸収しきれず、  
前年同期比減益

## 24/2Q損益概要（対23/2Q）

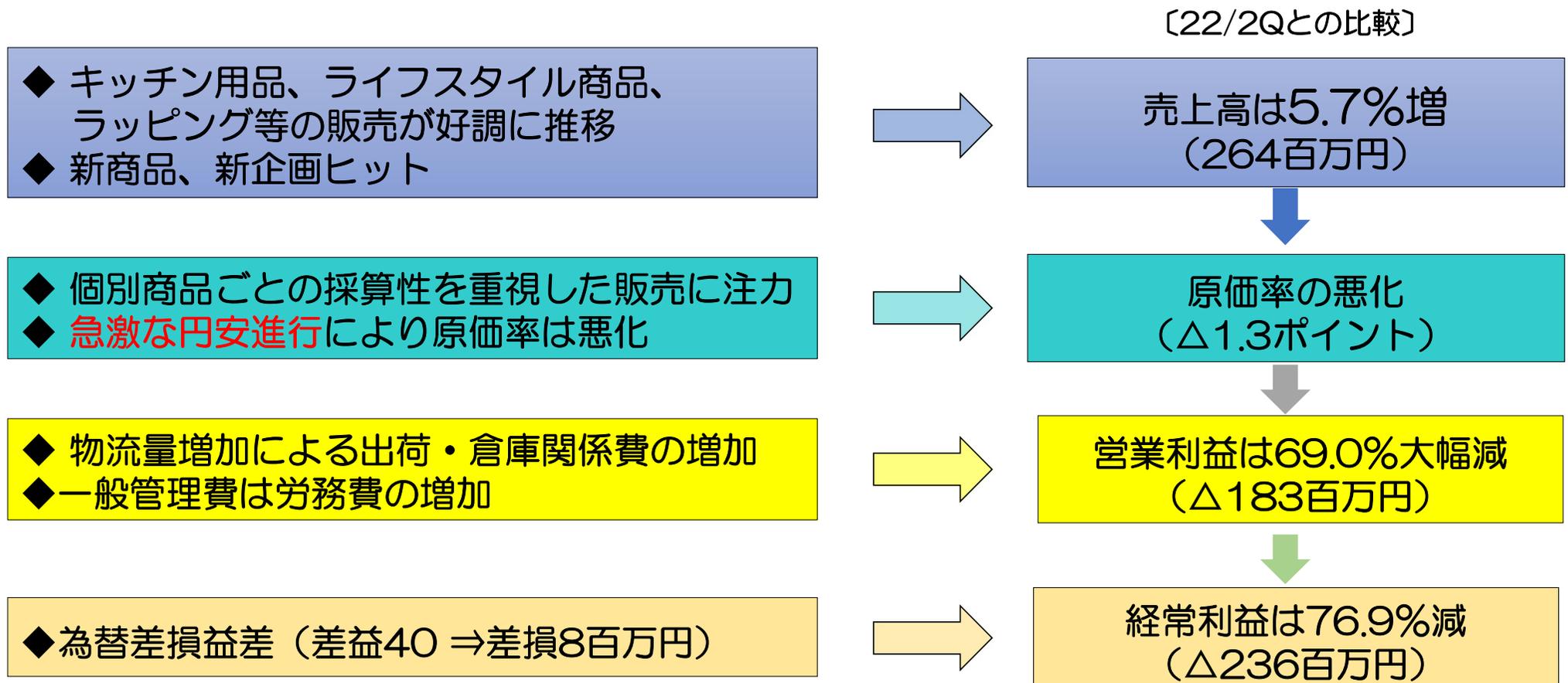
新企画・新提案の商品の提案に積極的に取り組んだ結果、売上高は前年同期を上回り前年同期比264百万円増加（5.7%増）の4,932百万円。  
円安の影響に加えて、物流及び労務関連費用の増加を主因とする販売管理費の増加により増収減益。

（金額：百万円）

	23/2Q	24/2Q	対前年同期比増減	
			金額	%
売上高	4,668	4,932	264	5.7 %
営業利益	(5.7%) 265	(1.7%) 82	△183	△ 69.0 %
経常利益	306	70	△236	△ 76.9 %
四半期純利益	191	48	△142	△ 74.5 %
1株当たり当期純利益 (円/株)	59.22	16.24	△ 42.99	△72.6 %

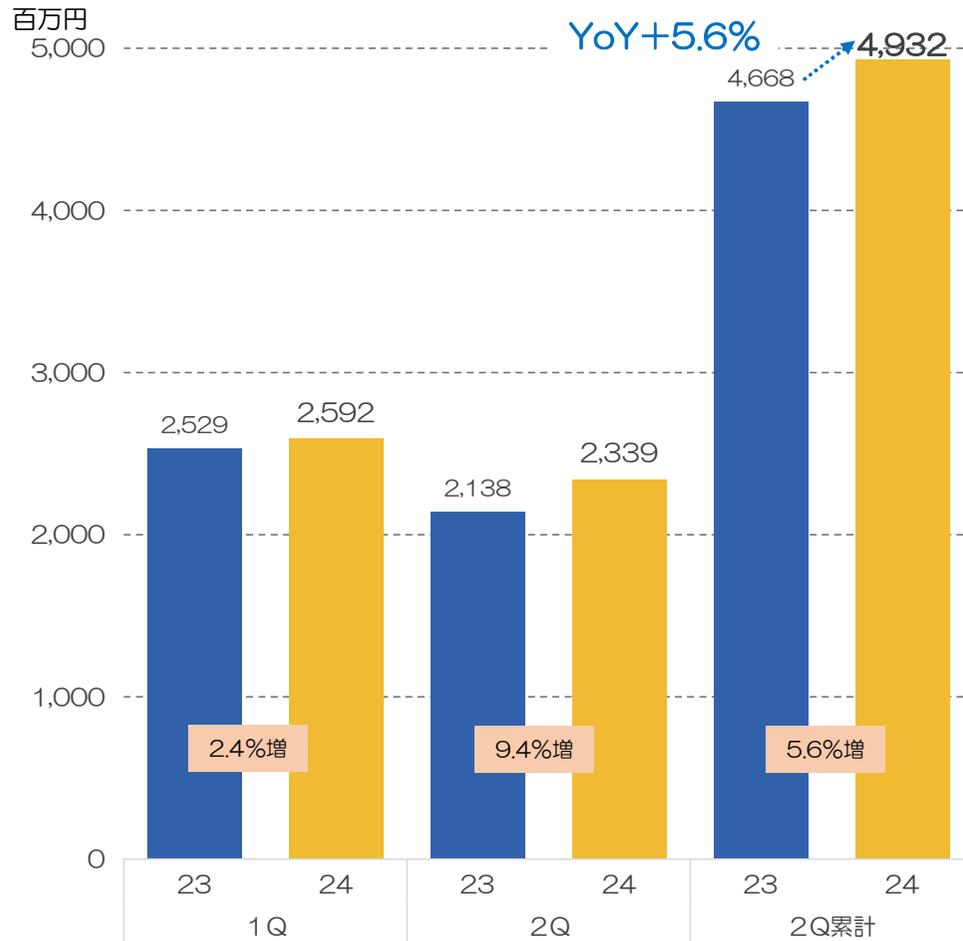
## 24/2Qの業績の背景（対23/2Q）

新商品・新企画のヒットもあり好調な販売や採算性重視の販売に注力の効果も、急激な円安進行により原価率の大幅悪化、物流費、一般管理費の増加もあり、大幅減益

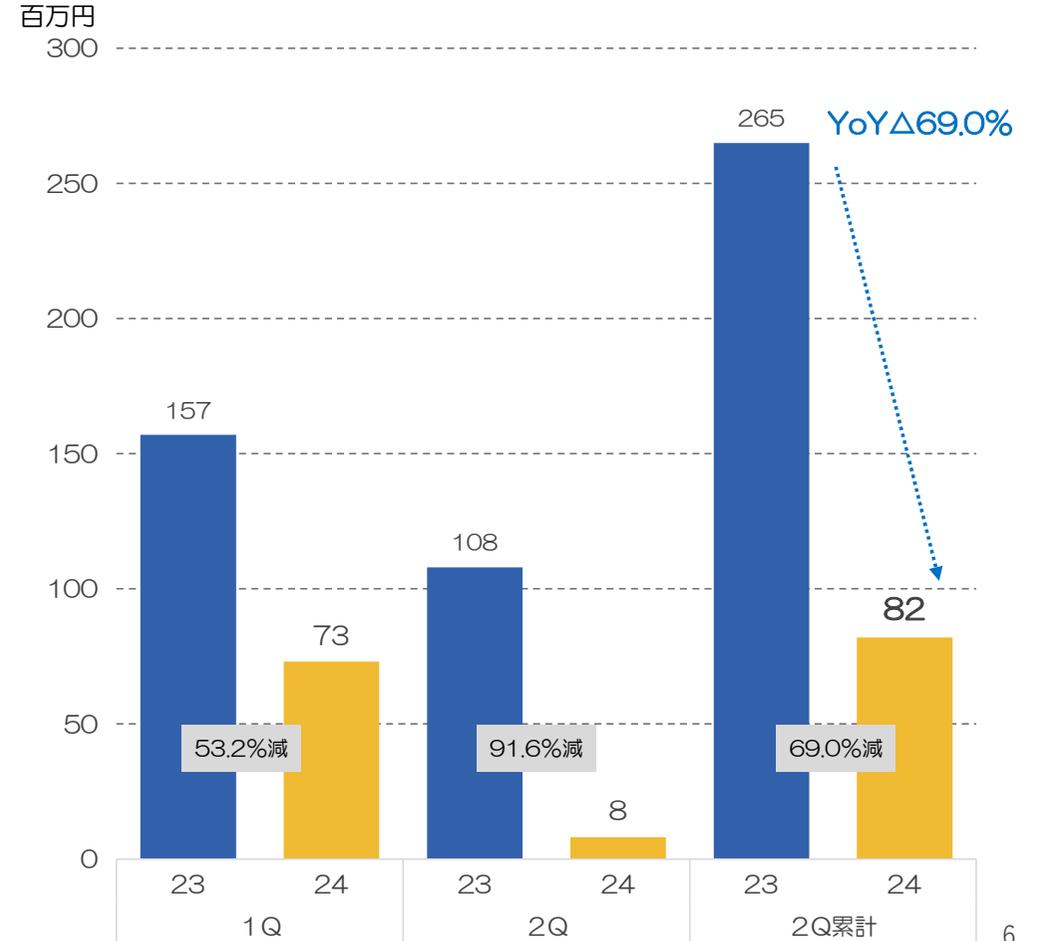


## 24/2Q 売上高・営業利益推移（対23/2Q）

売上高は1Q、2Qとも増収

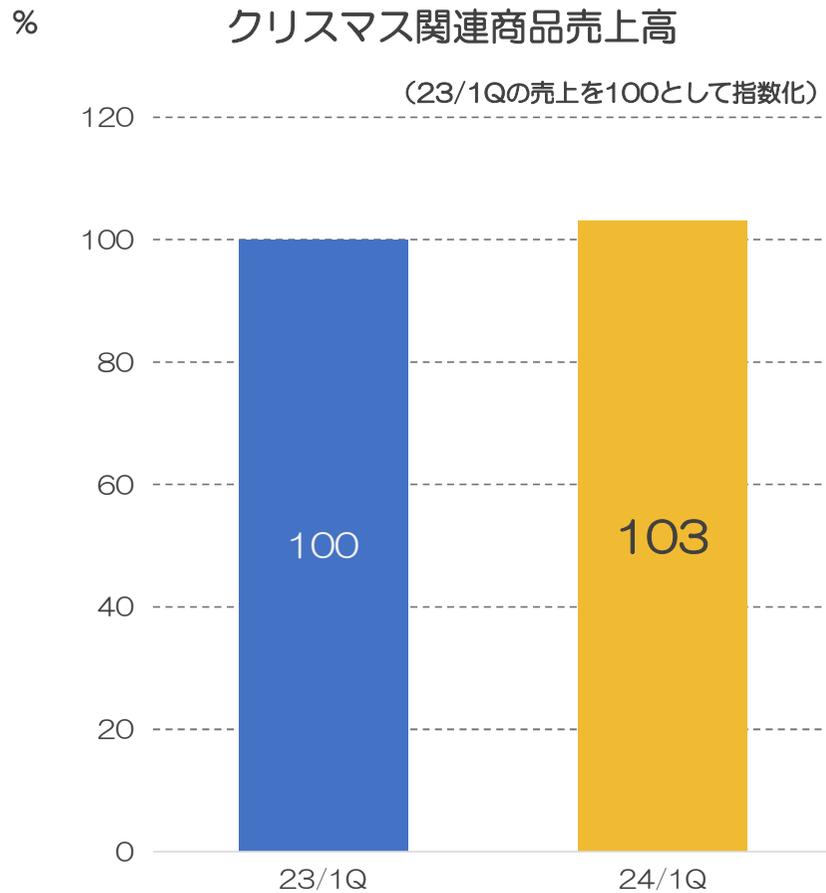


営業利益は1Q、2Qとも減益

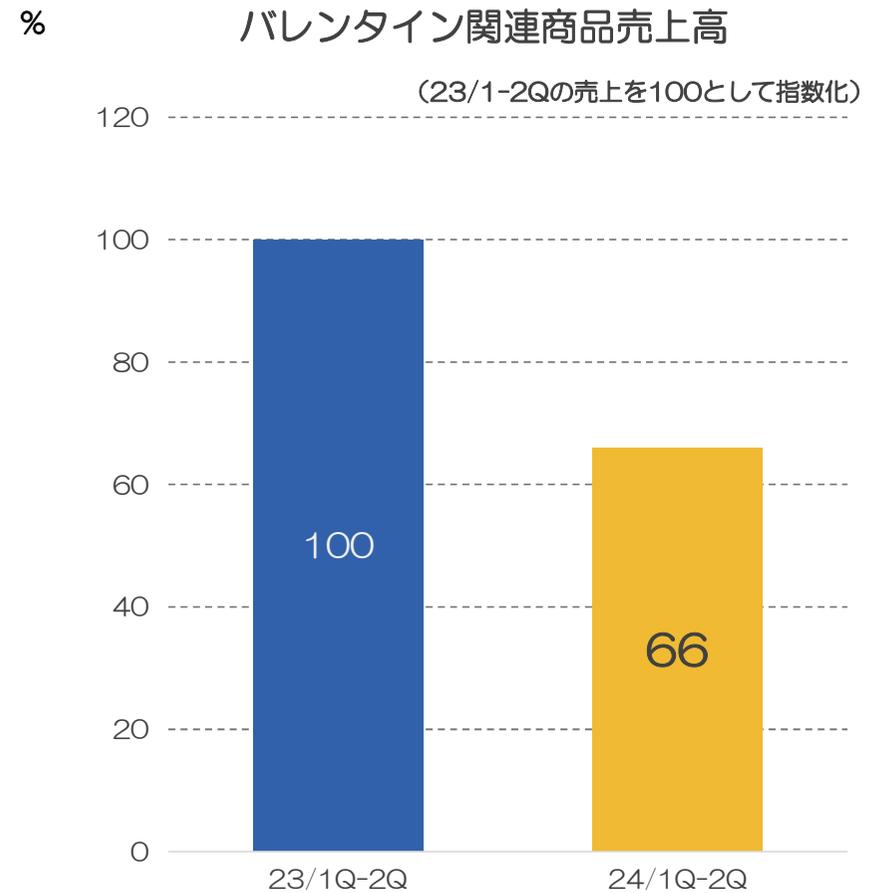


## 24/1Q-2Q イベント商品売上増減（対23/1-2Q）

クリスマス関連商品が3%増  
1Q売上全体は2%増



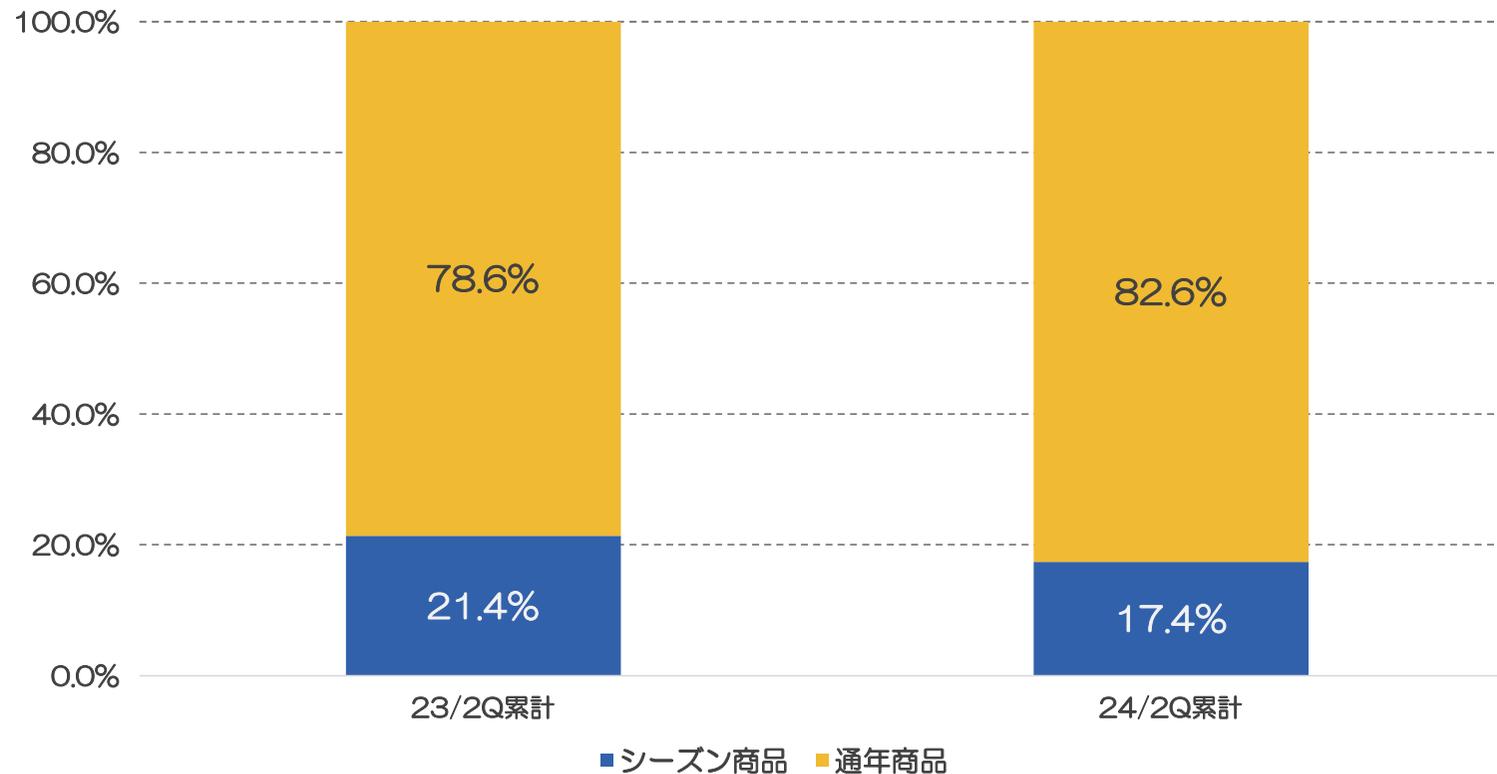
バレンタイン限定商品は34%減だが、  
バレンタイン需要として定番品が増加  
2Q売上全体は9%増



## 24/2Q 「シーズン商品」と「通年商品」比率（対23/2Q）

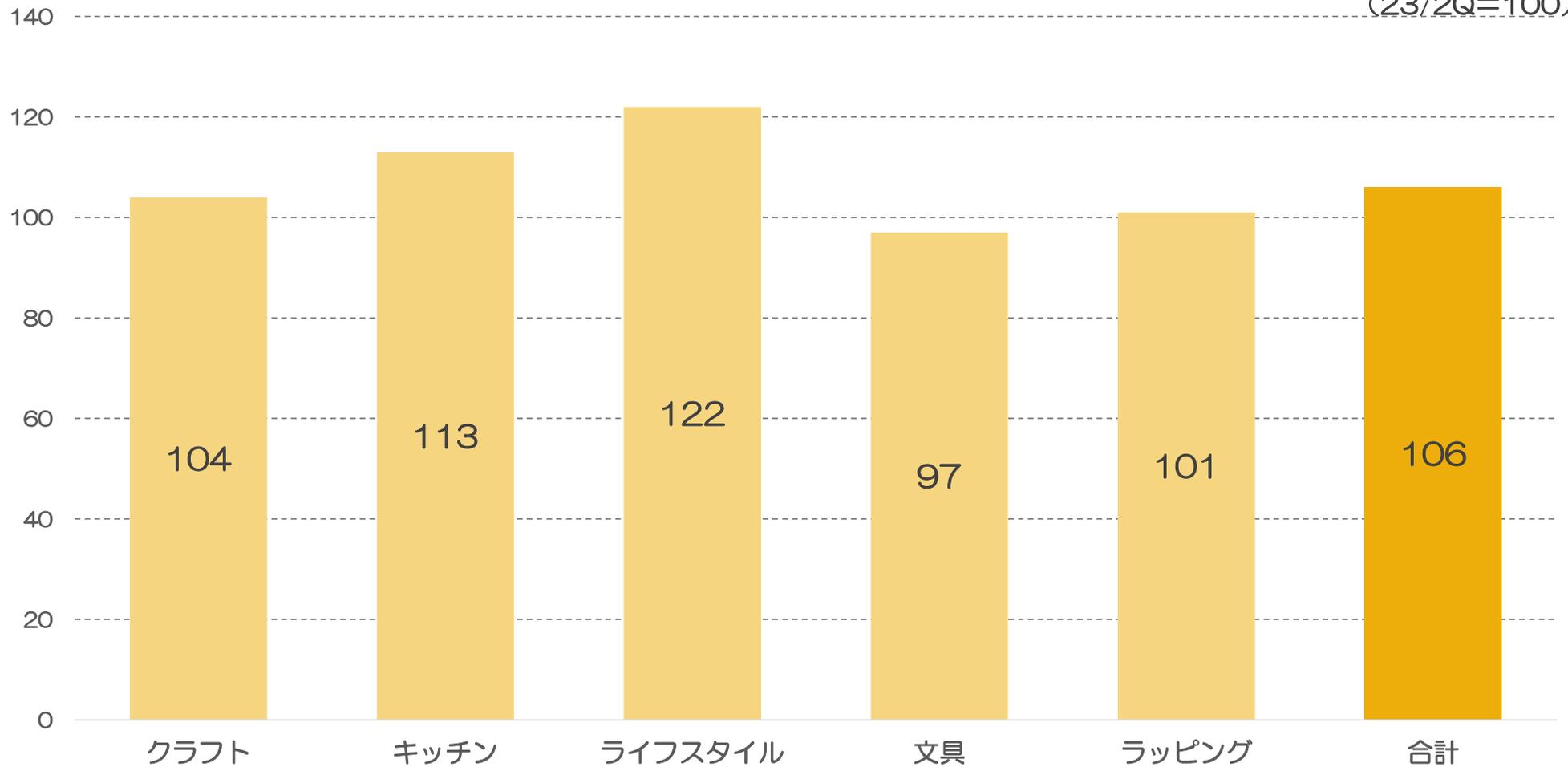
「通年商品」構成比は78%→82%へ

バレンタイン関連商品の売上減もあったが、生産性アップと売上安定化を目指した「通年商品比率アップ戦略」の効果により通年商品構成比は82%まで上昇



キッチン・ライフスタイルが堅調に推移

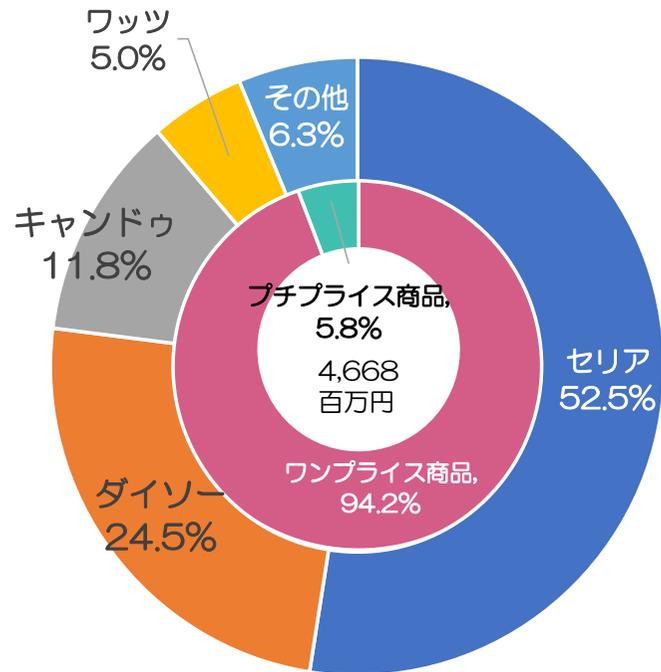
(23/2Q=100)



## 顧客別売上高推移（対23/2Q）

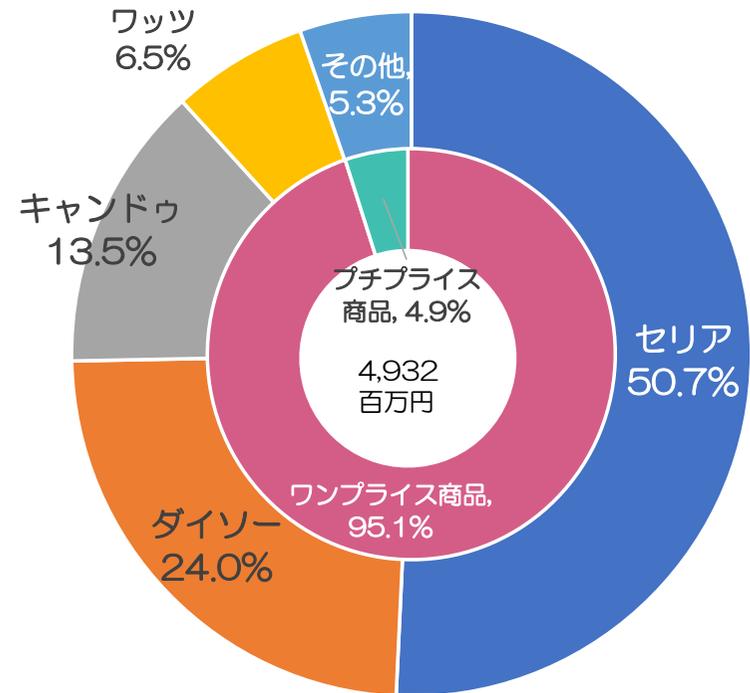
各社へそれぞれ売上が拡大、特にキャンドゥへの伸びが大

23/2Q



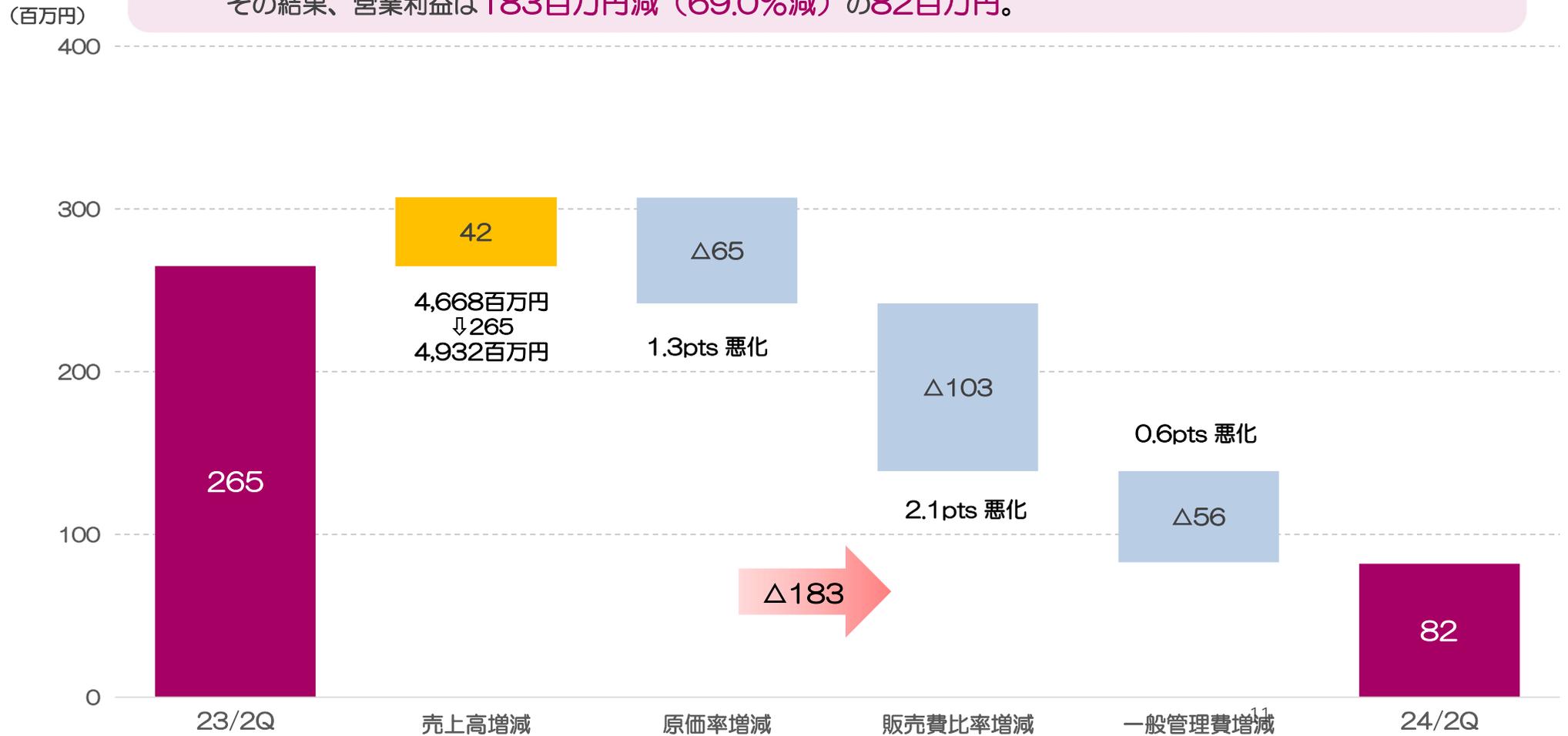
264 百万円

24/2Q



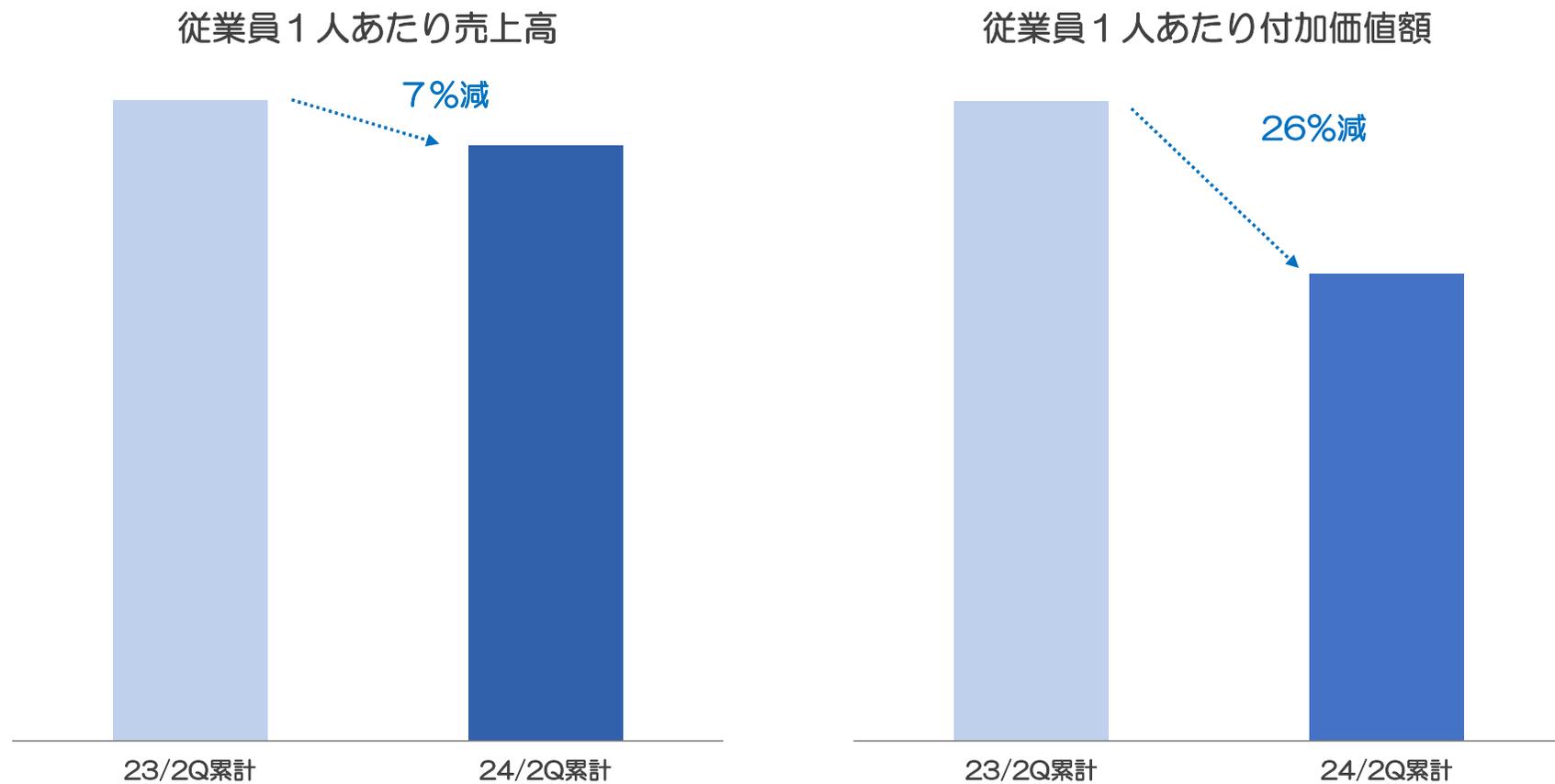
## 営業利益増減内訳（対23/2Q）

粗利改善努力の効果等があったものの、為替の影響（大幅な円安）が大きく、粗利率は**1.3pts悪化**。  
 物流量増加に伴う物流関連経費及び労務関連経費の増加により、販管費率は前年同期比で**2.7pts上昇**。  
 その結果、営業利益は**183百万円減（69.0%減）**の**82百万円**。



## 従業員1人あたり売上高・付加価値額推移

売上高は前年同期より増加するも、人員数の増加により従業員1人あたり売上高は減少  
 中計③「ICT推進」・中計④「プロ集団への進化」も進めているが、円安の影響が大きく、  
 1人あたり付加価値額も減少

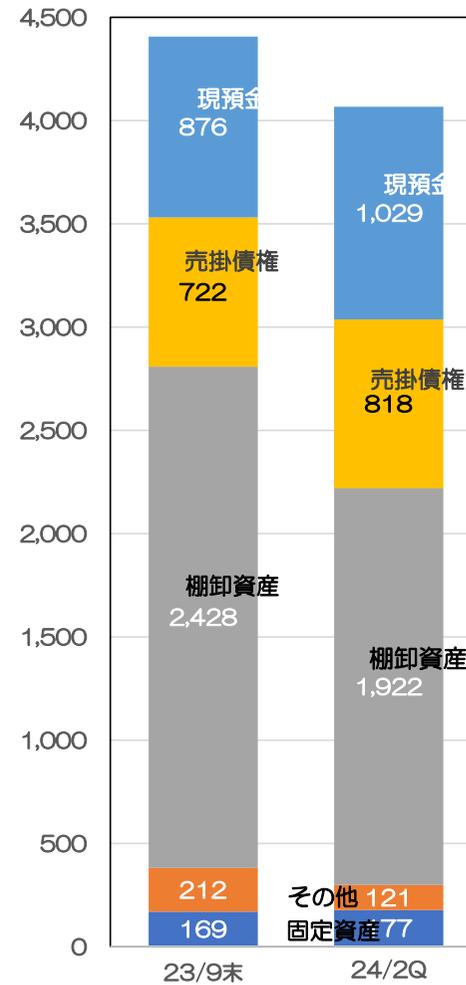


# 貸借対照表

(単位：百万円)

科目		23/9末	24/2Q	増減	内訳
流動資産	現金及び預金	876	1,029	153	内、売掛金 90 内、商品 △355 未着品 △150
	受取手形及び売掛金	722	818	95	
	棚卸資産	2,428	1,922	△ 505	
	その他流動資産	212	121	△ 90	
	<b>流動資産計</b>	<b>4,239</b>	<b>3,892</b>	<b>△ 347</b>	
固定資産	有形固定資産	44	41	△ 3	内、当賞 △700 1年内長期借入金 99
	無形固定資産	68	72	4	
	投資その他の資産	56	63	6	
	<b>固定資産計</b>	<b>169</b>	<b>177</b>	<b>7</b>	
<b>資産計</b>		<b>4,409</b>	<b>4,069</b>	<b>△ 339</b>	
流動負債	買掛金	63	65	1	
	短期借入金	1,300	699	△ 600	
	未払金	285	387	104	
	その他流動負債	79	70	△ 9	
	<b>流動負債計</b>	<b>1,728</b>	<b>1,223</b>	<b>△ 505</b>	
固定負債	長期借入金	0	183	183	
	長期未払金	254	254	0	
	退職給付引当金	33	36	3	
	<b>固定負債計</b>	<b>287</b>	<b>474</b>	<b>187</b>	
<b>負債計</b>		<b>2,016</b>	<b>1,698</b>	<b>△ 317</b>	
純資産	資本金	37	37	0	
	資本剰余金	273	273	0	
	利益剰余金	2,191	2,168	△ 23	
	自己株式	△ 157	△ 141	15	
	繰延ハッジ損益	47	33	△ 14	
	<b>純資産計</b>	<b>2,392</b>	<b>2,370</b>	<b>△ 21</b>	
<b>負債・純資産計</b>		<b>4,409</b>	<b>4,069</b>	<b>△ 339</b>	

資産

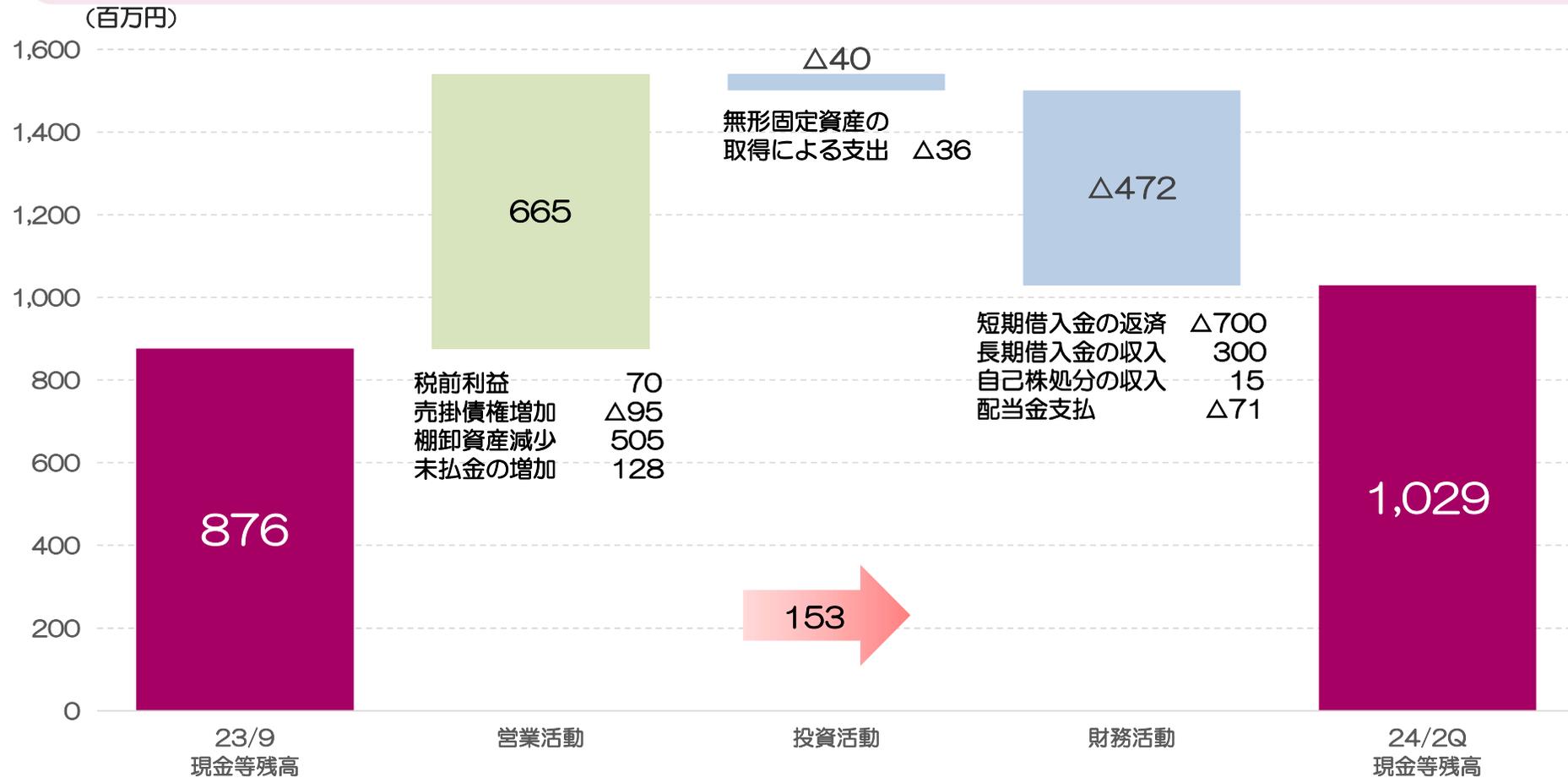


負債・純資産



## キャッシュフロー計算書

- ◆ 棚卸資産が505百万円減少し、営業CFは665百万円の収入
- ◆ 短期借入金の返済（700百万円）、長期借入金へのシフト（300百万円）等により財務CFは472百万円支出
- ◆ 現金等残高は153百万円増の**1,029百万円**



---

# 2024年9月期 業績予想

# II

amifa

---

## 24/9期 業績予想（2023年11月14日公表値から変更なし）

（百万円）

	23/9期実績	24/9期業績予想	対前年比増減	
			金額	%
売上高	8,131	9,275	1,143	14.1%
営業利益	(2.2%) 181	(2.5%) 240	58	32.2%
経常利益	202	235	32	15.9%
当期純利益	147	154	6	4.5%
1株当たり 当期純利益(円/株)	46.89	51.09	4.20	9.0%
配当(円/株)	24.00	24.00	-	
配当性向(円/株)	51.2%	47.0%	-	

### 24/9期通期の業績予想（修正なし）

売上は、消費者マインドに深くマーケティングした効果によるヒット率のさらなる向上を目指し、新企画、新商品の積極的な提案を継続していく。

円安が続き、仕入原価の上昇は避けられないと見ているが、採算性重視の営業戦略と物流関係のコスト削減を含む原価低減 及び生産性向上努力を継続し、利益確保に努めていく。

**配当は24円/株の予定（変更なし）**

---

# 24/9期2Qの商品トピクス

# III

amifa

---

## ライセンス商品 ピングー

世界で一番有名なペンギン、ピングーのキャラクターをモチーフとした全21アイテムを2024年2月より発売。

ステーショナリーや雑貨を中心に、小さなお子さまから大人の方までお使いいただける身近なアイテムをラインナップ。幅広い年齢層から人気を博しました！



## ライセンス商品 JR企画第2弾

昨年 JR東日本の車両や駅舎をモチーフとした商品を発売し、大好評を博した JRライセンス企画の第2弾！今回よりJR東海とJR貨物も加わりました。可愛さと遊び心溢れる全23アイテムが店頭に並ぶや否や、大きな話題を呼びました。





<お問い合わせ先>

経営企画室 IR担当

メールアドレス：ir@amifa.co.jp

本資料における将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証をあたえるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。